

一言コメント

山 中 裕

学者の皆さんは「カントが…西洋の倫理が専門で…経営倫理には興味がない」と口火を切って話をされましたが、私はどう切り出しているのか悩みます。

私の所属する三菱ケミカルホールディングスは三菱化学、田辺三菱製薬、三菱樹脂の3事業会社の純粋持ち株会社で、今年4月には三菱レーヨンが加わる予定です。私はバイオテクノロジーを専攻しましたのでケアということを考えて（しかし医者になる頭は無いので）医薬品メーカーに就職しました、今の田辺三菱製薬です。CI（コーポレート・アイデンティティー）でキュアからケアへ（CtoC）を議論したことがあります。「薬で治療（キュア）することよりも病気になる（ケア）ように」というわけです。

加藤先生へ：

三菱ケミカルホールディングスではAPTSIS10を掲げて今年が3年計画の最終年です。Iはインターナショナルライゼーションです。グローバルライゼーションは画一的、押し付けのイメージがありますので使っていません。ダイバーシティーを大切にすることでしょうか。

「今後の課題」に「政府は選挙のプロセスがあるが企業にはない」と結ばれました。ホールディングスは特殊な企業形態ではありますが、互いの会社は合併・統合で成り立っていますので社外取締役のガバナンスとは違った意味でグループ会社間の相互牽制が働きます、どこが赤字でどこが稼ぎ頭か、どこにどんな課題があるか（ポートフォリオ・マネジメント）をホールディングスの社長が述べ、グループ各社はそれを承知しているわけです。

田中先生へ:

「倫理を人と人との間柄の作法として考えることが可能ならば」という部分が実にしっくりとして記憶に残りました。ただ「互いの分かち合い」に「多大な勇気が必要」というくだりのご説明をいただければと思います。

浜渦先生へ:

「働くことの意味」は、「はた(傍)をらく(楽)にする」ことだと思いません。ダスキンでは従業員のことを「はたらきさん」と呼び、給料やボーナスを「お下がり」や「ご供養」と呼んだりもします。「ケアは自立を阻害する恐れがある」という話がありましたが、「はたを楽にしよう」として度が過ぎるとこれは「はた迷惑」と言われます。